



報道関係者各位

プレスリリース

2010年8月9日

株式会社 Ji2

Ji2、証拠保全専用ツール、EnCase Portable を発表

E-Discovery(電子情報開示)・フォレンジックの証拠収集の単純化・自動化が可能に

株式会社 Ji2 (以下 Ji2、代表取締役社長 藤澤哲雄) は、E-Discovery(電子情報開示) およびデジタルフォレンジックにおける電子証拠の収集作業を単純化・自動化するソリューション「EnCase Portable」の発売を開始しました。

EnCase Portable は、コンピューター・フォレンジックツールのリーディングカンパニーである米 Guidance Software (以下、GSI) 社が開発した製品で、Ji2 は GSI 社製製品の日本総代理店です。

従来、電子証拠の収集作業は、E-Discovery やデジタルフォレンジックに精通した人材を現地に派遣して実施することが一般的でしたが、EnCase Portable を利用すれば、誰でも簡単かつ効率的に現地でのフォレンジック技術に基づく収集作業を行うことができます。

EnCase Portable は専用の USB メモリー (ブータブル・セキュリティキー) にインストールされた状態で提供されます。ブータブル・セキュリティキーには 2.5GB 迄の電子データを直接収集することができるほか、外付け HDD などその他の USB ストレージデバイスにデータを収集することができます。

デフォルトの収集メニューによって、ドライブ全体/文書ファイル/インターネット関連ファイル/メールファイルなどの収集対象データを選択することができ、EnCase Forensic と連動させることで、より詳細に収集対象データを指定することも可能です。

なお、Ji2 では、法執行機関や民間の調査会社を主な対象として、期間限定で EnCase



Portable のデモ機を貸し出すキャンペーンを 2010 年 8 月 10 日から実施します。

【EnCase Portable 製品構成】



- EnCasePortable 本体
(ブータブルセキュリティキー)
- インストール CD/DVD
- 専用 USBHUB
- USB ストレージ 16GB

【EnCase Portable 導入メリット】

- ・ 誰でも簡単にデータ収集が可能
- ・ In-House E-Discovery に効果的
- ・ 自社でデータ収集できる体制を構築することで、E-Discovery のコストを削減可能
- ・ 遠隔地でのデータ収集を容易に
- ・ コンパクトで携行性に優れる

【EnCase portable 製品特徴】

- ・ 法的証拠として成立する、フォレンジック技術に基づく収集
- ・ 稼働中のサーバー/パソコンからデータ収集が可能
- ・ EnCase 製品とのシームレスな連携

【販売ターゲット/目標】

- ・ 販売ターゲット：製造メーカー、製薬会社、弁護士事務所、民間の調査会社、法執行機関など。
- ・ 販売目標：初年度 20 式を目標としています。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社 Ji2 担当 佐藤 能規(たかのり)

郵便番号 160-0022 東京都新宿区新宿 1-9-5 大台ビル 3F

TEL: 03-6228-0163 FAX: 03-6228-0164

E-mail: info@ji2.co.jp

【Ji2 について】

Ji2 は豊富な海外訴訟支援実績と高いデジタルフォレンジック技術に裏打ちされた、e ディ



スカバリソリューションと e ディスカバリ調査サービスを提供しています。数々の米国企業と密接なパートナーシップ構築し、世界最高水準のソリューションを日本企業様向けに提供致します。Ji2 の詳しい情報については、下記のサイトでご覧になれます。

<http://www.ji2.co.jp/>

【Guidance Software 社について】

Guidance Software 社は、コンピューターフォレンジック業界におけるリーディングカンパニーです。

EnCase プラットフォームは、政府・企業・法執行機関がデータの法律的な整合性を維持しながら、知的財産盗難・インシデントレスポンス・コンプライアンス調査・eDiscovery への対応を効率的かつ綿密に行うための基盤を提供します。

EnCase の実力は世界中の法廷で立証されているほか、eWeek, SCMagazine, NetworkComputing などの雑誌および Socha-Gelbman の調査でセキュリティに関する賞を受賞しています。